

2024 年度北海道サケネットワーク総会要録

サケネットワーク総会については、原則的に北海道サケ会議と同時に開催すべきであるが、集会方式による総会では会員の参加が限られることが予想されることから、今年度の総会は email による書面協議方式で行った。email にて議案を送付し協議を依頼したところ、異存なく承認された。6 月 8 日(土)に札幌エルプラザで開催された総会・サケ会議では、それに加えて、2025 年度のサケ会議会場やサケネットワークの現状などについての議論があった。

I 総会議題 ー 書面協議の結果報告

1 2023 年度活動実績報告

- (1) サケネットワーク総会を書面協議の方式で実施した。(23.4.25)
 - (2) 北海道サケ会議を標津町(標津サーモン科学館)で実施した。(23.6.10~11)
 - ア テーマは「気候変動化のサケ ~適応的な生産と利用に向けて~」
 - イ 標津町で行われた 23 年度の会議は、22 年度の札幌会議での総合的な意見交換に引き続くもので、サケの生産や啓発活動を日々推進する現地の皆さんの状況を知る機会となった。参加者は当ネットワークの主要団体・会員を始め、副町長など町関係者、地元の関係事業所、漁協関係者、一般町民など総数 50 名を超え、会場の標津サーモン科学館展示ホールいっぱいの聴衆となった。町民の評価は総じて高かった。
 - ウ 講演タイトルと講師
 - ・ 標津サーモン科学館の取り組み
市村政樹氏(標津サーモン科学館館長)
 - ・ 日本遺産「鮭の聖地」の物語の現状とこれから
小野哲也氏(ポー川史跡自然公園園長)
 - ・ 魚介類鎮静化システムによるサケの活け締め作業の効率化
小野瀬渉氏(標津町漁業者)
 - ・ 標津町の水産ブランドづくりの取り組み
佐々木克之氏(標津町水産課課長)
 - ・ 海を守る~心の運動を実践して~
織田美登志氏(標津漁業協同組合専務)
 - エ エクスカーション
ポー川自然公園での遺跡散策、川下りなどが行われた。
 - オ 標津町内で交流会(懇親会)が有意義に行われた。
 - (3) 会報 No.13 が発行された。(ホームページ)
- 2 会員の状況(2024.4.1 現在) 特別会員 14 正会員 10
 - 3 2023 年度会計収支決算報告及び監査報告(別添資料 1)
 - 4 2024 年度活動計画(案)
 - (1) 24 年度サケネットワーク総会を email 書面協議方式により実施する(実施済)。

- (2) 24年度サケ会議を札幌市で開催する（6月8日（土）@札幌エルプラザ）。
- (3) 会報（創立15周年記念第14号）を発行する。（24年5月に発行済）
- (4) ニュースレターを発行する。
- (5) サケマス情報プラットフォームにより最新の情報を発信する。

5 2024年度会計収支予算案（別添資料2）

6 役員改選（別添資料3）＜24年度は任期2年の非改正年に当たる＞

（以上 書面協議事項）

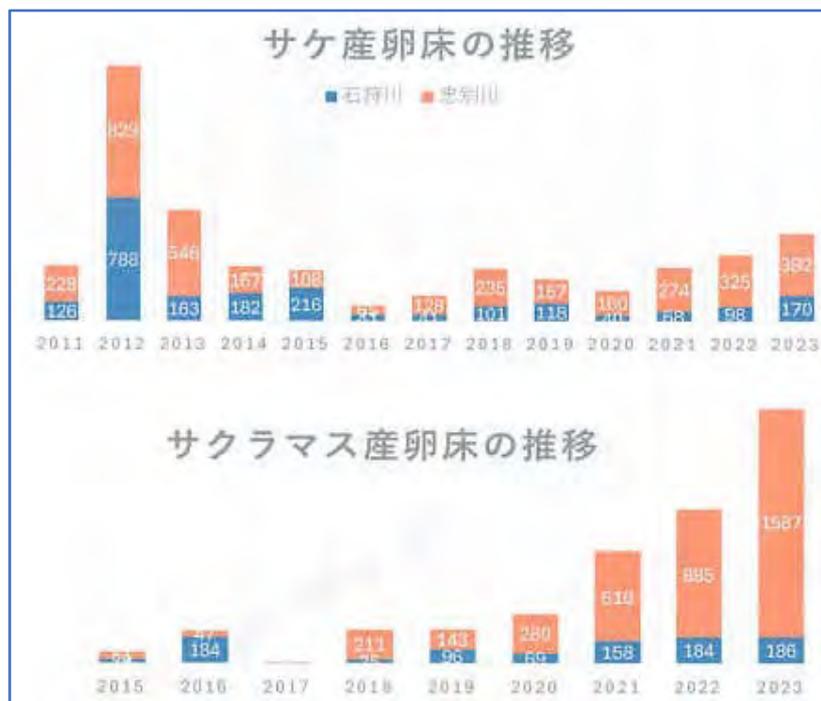
II 総会議題 - 札幌エルプラザで取り上げられた議題

7 2025年度のサケ会議会場について： 旭川において開催することとなった。

8 会員の活動報告： とかち・帯広サケの会、千歳水族館、大雪と石狩の自然を守る会、豊平川さけ科学館などから報告があった。大雪と石狩の自然を守る会の寺島一男氏からは、減少傾向を見せていた石狩川上流部の産卵床の数であるが、ここ数年は増加傾向に転じていると報告された（下図）。

9 北海道サケネットワークの現状に関する役員会での意見交換について： 阿部代表から標記の件についての報告があった。

石狩川上流部上川盆地におけるサケおよびサクラマスの産卵床の推移



（大雪と石狩の自然を守る会・寺島一男氏の配布資料より）

北海道サケネットワーク 2023年度 収支決算報告

《収入の部》

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
前 期 繰 越 金	24,924	24,924	
会 費	35,000	40,000	10 団体
寄 附 金	0	18,600	HPサーバー利用料
雑 収 入	0	0	
合 計	59,924	83,524	

《支出の部》

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
手 数 料	2,000	1,945	郵便振替
通 信 費	5,000	840	郵送料
消 耗 品 費	2,000	0	用紙・封筒事務用品
会 議 費	30,000	27,800	会場費等
HPサーバー利用料	20,000	18,600	
予 備 費	924	0	
合 計	59,924	49,185	

《次年度繰越金》 83,524 - 49,185 = 34,339

2023年度 会計監査報告

北海道サケネットワークの、2023年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の会務、並びに会計の収支決算報告書について、関係諸帳簿などを監査した結果、適正に執行・処理されていると認めます。

2024年 4月 17日

監 事 吉 光 弼 

監 事 佐 藤 信 洋 

2024年度 収支予算（案）

《収入の部》

(単位：円)

科 目	前年度予算額	24年度予算額	増 減
前期繰越金	24,924	34,339	9,415
会費	35,000	40,000	5,000
寄附金	0	0	0
雑収入	0	0	0
合 計	59,924	74,339	14,415

《支出の部》

科 目	前年度予算額	24年度予算額	増 減
手数料	2,000	2,000	0
通信費	5,000	5,000	0
消耗品費	2,000	2,000	0
会議費	30,000	30,000	0
HPサーバー利用料	20,000	20,000	0
予備費	924	15,339	14,415
合 計	59,924	74,339	14,415

2024 年度北海道サケネットワーク役員名簿(敬称略) <2024.4.1 現在>

<非改選年>

代 表	阿部 周一 (北海道大学大学院水産科学研究院・札幌サケ協議会)
副 代 表	寺島 一男 (大雪と石狩の自然を守る会)
事務局長	高橋 壽一 (札幌サケ協議会)
幹 事	市村 政樹 (標津サーモン科学館)
同	千葉 養子 (とかち・帯広サケの会)
監 事	吉光 昇二 (水産研究・教育機構 水産資源研究所 さけます部門 資源増殖部)
同	佐藤 信洋 (札幌市豊平川さけ科学館)
顧 問	浦野 明央 (北海道大学大学院理学研究院)
同	河村 博 (北海道立総合研究機構)